

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	情操教育推進事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図	児童生徒の情操を養い、豊かな心情を培う。
事業内容	学校が意図的・計画的に企画する映画鑑賞、コンサート、観劇等を通し、児童生徒の情操を養い、豊かな心情を培えるよう支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に事業がスタートした。市内小中学校からの要望が多く、さまざまな活用方法を展開しようと試みてきた。その結果、多くの学校で定着した行事になりつつあり、児童生徒、保護者からも好評である。参加した児童生徒は、本物の芸術に触れることで、心豊かな時間を過ごすことができている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	観劇参加数	3,403	4,637	7,130	人	↑↑↑
②	音楽鑑賞参加数	6,769	4,833	2,393	人	→→	
③	その他参加数	634	1,094	2,005	人	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	学校が生の芸術に触れることができる機会を設けているので、情操教育の一端を担うことができ、児童生徒の豊かな心情が育ってきている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,365,450	4,314,960	4,276,360
事業費(b)(円)	2,100,000	2,100,000	2,101,000
うち一般財源	2,100,000	2,100,000	2,101,000
職員給与費(c)(円)	2,265,450	2,214,960	2,175,360
人役・職員(人)	0.33	0.33	0.33
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

26年度に観劇7校、音楽鑑賞6校の実施であったが、希望する学校が多く、残り3校には、配分ができなかったため、予算の拡充を図った。  
30年度は、観劇や落語の鑑賞10校、音楽鑑賞8校、計18校の学校が生徒の芸術に触れることができた。今後も、学校のニーズに応えながら、児童生徒の情操教育の充実に努める。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	児童生徒の情操をより豊かにするために、学校が意図的・計画的に情操教育推進事業を企画し、推進する。	③取組における課題(Check)	情操教育推進事業の内容の更なる充実を図る。
②H30に実施した取組(Do)	情操教育推進事業を実施し、充実した取り組みを行うことができた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	学校のニーズをとらえ情操教育推進事業の内容を充実させる。